楽人

2010 January
Vol.39

特　集

大阪商業大学・神戸芸術工科大学のGP事業の取組みについて

http://www.tanigaku.ac.jp/

学校法人 谷岡学園
Tanioka Gakuen Educational Foundation

2010 January
Vol.39

楽人

Gaku jin

contents

巻頭
理事長　年頭挨拶　学校法人 谷岡学園　理事長　谷岡一郎 ―― ②

特集
大阪商業大学・神戸芸術工科大学のGP事業の取組みについて ―― ③
大阪商業大学　質の高い大学教育推進プログラム（教育GP） ―― ④
大阪商業大学／神戸芸術工科大学　大学教育・学生支援推進事業　学生支援推進プログラム（学生支援GP） ―― ⑥

トピックス
大商大（仮称）研究棟新築工事について ―― ⑧
学園設置3高校・幼稚園でメール配信システムを導入
人事異動について（内示）
健康開発セミナーが行われました

ニュースファイル
神戸芸工大　神戸市新設の「統括監」へ齊木崇人神戸芸工大学長を登用 ―― ⑨
大商大　全国高等学校第8回ビジネスアイディア甲子園2009
河内の郷土文化サークルセンター創立25周年記念事業が行われました
神戸芸工大　WAT神戸2009開催される
大阪女子短大　第3回スイーツコンテスト 優秀作品が商品化されました
フジイデラックス09に参加しました！
大商大高校　エコアートフェスタ ごみアート甲子園でグランプリ受賞
大商大堺高校　収穫感謝祭
卒業生がプロ野球選手に
大阪女子短大高校　「書の世界とガラス&アート制作展」を開催しました
大商大堺高校
大阪女子短大高校　「第18回国際高校生選抜書展」で入賞しました
大商大附属幼稚園　保護者対象講演会を開催しました
各校クラブ活動等の活躍について

クオリティ・オブ・ライフ〜最新歯科医療の現場から vol.3〜 ―― ⑪
各設置校の主な予定
編集後記

理事長　年頭挨拶

中井先生のあの元気な声を聞きますと、いつも新年が来たなという気がいたします。みなさんにとってはいいお正月だったと信じております。

去年はいろんなことも勿論ございました。良いことも悪いこともたくさんありました。だいたい悪いことの方が良いことの倍くらいあるんですが、そのうちの半分くらいはどうでもいいことです。だいたいが良い方に変えられると私は信じております。

平成2年のことです。私は、若い教員や職員の方々に、20年後のこの大阪商業大学及び谷岡学園がどうなっているか、理想を書いてもらいたいと、みなさんにお願いし、それぞれに文章を出してもらったことがございます。この中の何人かは覚えておられることと思います。

ここにおられる岩井先生も、20年後は駅から大阪商業大学まで大学が作ったアーケードを通って、そしてみんなが明るく通える学園でありたいというようなことを書いていただきました。最終的にその報告書を受け取ったときに、大城戸さんだったと思いますが、平成22年頃、この学校がどうなっているかなと、それまで頑張ろうなという話をした覚えがございます。今、まだ途半ばだと思いますが、少なくとも着実に前進している。それも本当にみなさんのお陰だと、心より感謝申し上げたいと思います。

去年、一番私が印象に残っておりますのは、仕分けとかいうおかしな儀式でございます。なにが無駄で、無駄でないのか、我々も常日頃、仕事を見直しておりますが、ともすれば短期的な視野で、こんなところはいらないのではないかと削ってしまいがちです。そして、ひょっとしたらいつの間にか、未来への投資を削っている可能性もございます。そういったことは大変恐ろしいことです。できる限り未来への投資を続けていく。我々の教育は、勿論、未来への投資です。そういう意味で、まずその教育、基本を忘れずに一歩一歩進んでいきたいと考えております。

ただ、時間も仕分けができないかなあと、実は、正月早々、考えておりました。

一日に5回、3分ずつ歯を磨いたら何分になるか、1年だとどのくらいになるかなと、ずっとやっておりますと、なんと起きている時間に換算して5日間も歯ばっかり磨いている。でも、そこは仕分けできないわけです。要するに、こういった健康な歯、健康な体を作るための基本である歯というものを大切にするというのは削ってはいけない部分なんだと。そういう意味で、昨今、体を壊す人が、また多くなっているような気がいたします。ちょっとおかしいなと思ったら申し出る勇気をもう一度もっていただいて、体だけは必ず大切にしていただきたい。この学園は、みなさんが健康であってこそ存在できる、継続できる組織なんだということを身に沁みて感じていただきたいと思います。

年頭にあたりまして、みなさんには無駄に思えることでも、できればいろんなことにチャレンジしていただきたい。この一年がみなさんにとっていい年でありますように、心より念じ、理事長としての年頭のご挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。

（1月5日　東大阪キャンパス　理事長　年頭挨拶から）

学校法人 谷岡学園　理事長
谷岡　一郎

「大阪商業大学・神戸芸術工科大学」

GP事業の取組み

国公私立大学を通じた教育の質向上を目的として実施されている〝GP（Good Practice）〟。日本全国で、多くの大学や短大の取組みがGP事業として採択され、それぞれの学校が独自のプログラムを展開することにより、各分野の教育の質向上が推し進められ、現在では、大学を評価する際の一指標として社会的にも、また、高校での進路指導においても認知されつつあります。

本学園では、大阪商業大学の起業家育成をテーマにした取組みで採択された平成16年度の「特色ある大学教育支援プログラム（特色GP）」を皮切りに、平成20年度には、特色GPと「現代的教育ニーズ取組み支援プログラム（現代GP）」が発展的に統合され、新設された「質の高い大学教育推進プログラム（教育GP）」で大阪商業大学の取組みが、平成21年度には「大学教育・学生支援推進事業学生支援推進プログラム（学生支援GP）」で大阪商業大学、神戸芸術工科大学の取組みが順次採択されています。

これらの取組みについては、採択時にその概略を紹介させていただきましたが、その後の進捗及びこれまでの成果、また、来年度の事業展開などについて、今回の特集記事として取り上げ、紹介させていただきます。

「GP」

GPとは「Good Practice（優れた取組み）」の略で、文部科学省が大学・短期大学・高等専門学校が実施する教育改革の取組みの中から、優れたものを選び、重点的に財政支援を行うとともに、その取組みについて広く社会に情報提供を行い、これらの取組みを参考にしながら、教育改革を促進させ、大学教育改革を進めていくことを目的としています。

「質の高い大学教育推進プログラム（教育GP）」

大学・短期大学・高等専門学校から申請された、教育の質の向上につながる教育取組みの中から特に優れたものを選定し、広く社会に情報提供するとともに、重点的な財政支援を行うことにより、我が国全体としての高等教育の質保証、国際競争力の強化に資することを目的としたものです。

（文部科学省HPより）

「大学教育・学生支援推進事業【テーマB】学生支援推進プログラム（学生支援GP）」

各大学・短期大学・高等専門学校から申請された、各大学等における学士力の確保や教育力向上のための取組みの中から、達成目標を明確にした効果が見込まれる取組みを選定し、広く社会に情報提供するとともに、重点的な財政支援を行うことにより、我が国の高等教育の質保証の強化に資することを目的としたものです。

（日本学生支援機構HPより）

平成20年度 質の高い大学教育推進プログラム（教育GP）

実践教育による社会的問題解決能力の養成

～フィールドワークを活用したプロジェクト型演習の導入～

〈大阪商業大学〉

教育GPの目標・到達点

大阪商業大学では「実践教育による社会的問題解決能力の養成」をテーマにフィールドワークを採り入れた演習を進めています。

近年、大学のキャンパスを踏み出して、現実の社会問題に向き合いながら学生の資質を高めようとする試みが多く見られますが、本学の取組みもその先端を行くプログラムとして高く評価されています。

私たちの取組みは、講義を中心とした従来型の大学教育を見直し、キャンパスから一歩社会へ飛び出して、現実社会で起こっている問題に当事者として直接かかわることで、新しい教育の可能性を探るものです。

そうすることによって、知識の追体験、知識の検証を経験させ、知識の実体化を促すことができるものと考えています。

そして何よりも重要なことは、倫理観や社会性、価値観の重要性を再認識させることによる学生の資質の向上だと考えています。

取組事例・今後のスケジュール

現在、河川環境対策・観光開発・住民と取組む商業振興・企業と連携した商品開発・社会的事業の長期体験をテーマに、5つのゼミナールがフィールドワークを進めていますが、その成果報告として平成22年1月23日に5つのゼミナールによる「平成21年度フィールドワークゼミナール成果報告会」が実施されました。そして2月12日には「取組評価会議」において、組織・予算・成果など、取組みを進めるためのすべての機能について外部識者の評価を受ける予定となっています。この仕組みによって、常に次の取組みが改善されていくシステムが出来上がっています。

22年度には新たに次の4つのゼミナールが参加し、前述の5つのゼミナールと併せて9つのゼミナールが稼働します。

・子供たちに「経済」を教えることを通じて経済学の理解を深めるゼミ

・東大阪シルバー人材センターとの連携による高齢者の仕事を題材にしたゼミ

・水間鉄道（貝塚市）と連携して地方鉄道路線が直面する課題に取組むゼミ

（以上、経済学科）

・少子高齢化社会と地域福祉をテーマにNPOやボランティア団体と協働するゼミ

（公共経営学科）

これにより履修する学生の数も4つのゼミナールの126名が加わり、現在の3年生までの履修者と合計して約240名になる予定です。その後も、フィールドワークゼミナールは「世に役立つ人物の養成」を標榜する本学にとって、もっとも重要な位置を占める取組みの1つになっていくことでしょう。

フィールドワークによる中小企業の起業家精神の研究（粂野ゼミ）

粂野ゼミでは中小企業がもつ製品の市場調査や改善案を、企業経営者の方々とディスカッションしながらまとめることを通じて、「中小企業の起業家精神とは何か」を学んできました。今回は異業種交流会「フィールドコア平野」の方々と段ボールのいすをテーマに、どこで、どのように販売するかを考え、企画を立てました。また商品に対して自分たちなりの改善提案も行い、実際に試作段階にまで至りました。

これらの活動を通じて学生たちは、自分の考えをまとめ、人に説明する、人の話を聞いて理解する、といった行動がとれるようになりました。最も学生たちの成長がみられた点は、これまで何か指示を受けないと動かなかった学生が自ら積極的に活動するようになったということです。この点はまさに本学がめざしている、問題解決能力であり、社会で必要とされる人材になる第一歩であると考えています。

総合経営学部　経営学科
教授　粂野　博行

マーケティングによる社会的問題解決の実践（酒井ゼミ）

酒井ゼミナールでは、東大阪市の瓢箪山駅周辺商店街の連合組織「スマイル瓢箪山」と東大阪市役所との地域連携による〝瓢箪山地域活性化プロジェクト〟に取り組んでいます。既に5年を経過し、全国的にみても数少ない地域と大学の連携の成功事例として、広く知られるようになっています。

ゼミナールは、「実践」を強く意識して運営しています。学生たちが社会の〝現場〟に出向き、〝現場〟でリアルな経験をして、真剣に悩み、深く考えることを促しています。フィールドは楽しいことばかりではありませんが、学生たちは、商店主さんに叱られたり、自分たちの力不足を感じて自分を見つめ直す機会を得ています。本年度は3年生27名、2年生10名が、地元の縄手北小学校の5年生の職業研究と販売体験をプロデュースしました。教材を作成して小学生に商店経営をレクチャーしたり、小学生の販売体験イベントを企画運営するなど、学生には大きな負荷がかかりますが、厳しい経験を通して目に見えて精神的に強くなっていくのがわかります。ゼミ生は明らかに活動を通して「自信」を獲得します。他人と協力することが生み出す力、頑張ってみることの素晴らしさ、誠実であることの大事さなどに気づくことが、学生の自信につながっているのだと思います。これがフィールドワークの最も大きな成果であるように思います。

総合経営学部　商学科
准教授　酒井　理

フィールドワークによる河川環境保全の研究（原田ゼミ）

原田ゼミでは「フィールドワークによる河川環境保全の研究」をテーマに、淀川水系が抱えるさまざまな環境問題の解決に向けた取組みを進めています。

今年度は3つのテーマを設定し、グループごとに課題に取り組んでいます。このうち、「漂着ゴミ問題の解決」の観点からは、世界各地で深刻化している漂着ゴミ問題の解決に向け、基礎となるデータの収集・分析を通じて、問題の所在を社会に広く訴え、問題解決をめざしています。また、「希少生物の保護と生息環境の保全」の観点からは、外来水生植物の駆除にあたって、どのようにすれば幅広い市民参加が実現するのか、といった課題に取り組んでいます。また「流域間交流」については、淀川の上下流の交流の活性化にむけて、川の文化に親しみ、学ぶことができる体験型の観光メニューの考案を通じて、環境保全に向けた意識の向上を図ります。

これらの取組みは、流域の行政機関やNPO、企業との連携により実施しています。その中で、流域に伝わる川の歴史や文化について単に知識を得るだけではなく、ご協力いただいているみなさまとの交流を通じて、社会のモラルといった倫理観、あるいは社会人としての職業観といったものについても学んで欲しいと願っています。

経済学部　経済学科
准教授　原田　禎夫

企業の社会的責任に関するフィールドワーク型実証研究（松永ゼミ）

松永ゼミでは、ジオリゾーム㈱に1名、プレジャーサポート㈱に2名、大和ハウスCSR推進室に2名の学生がインターンシップに従事しています。それぞれのゼミ生は、各企業の社長あるいはフィールドワークゼミ担当者と、ほぼマンツーマンで行動を共にしています。少人数であるがゆえに、フリーライドの余地はなく、社長、フィールドワーク担当者、他学からのフィールドワークゼミ生とのガチンコ勝負が要求されるというのが、松永ゼミの特色です。

ゼミ生がインターンシップ先で実質的な活動を始めて、およそ4カ月が経ちます。他学生と協働することで、まず、自分にはどの実践能力が不足しているのかを把握し、その不足した能力を補おうと努め、克服し、自分への自信を手に入れつつあるところまで、彼らは来ているように思います。フィールドワーク先での活動報告を依頼すると、自分の経験を矢継ぎ早に語り始め、それがどんなに自分を変える経験であったか、どのようにやって問題を解決してみせたかを目を輝かせながら話し出します。報告の制限時間を過ぎて、こちらが制止しても、「もう少し話させてください。」と言って話を止めようとしません。たった4カ月ではありますが、彼らの顔つきは、まるで別人のようです。

まだプロジェクトとしては、道半ばであり、すべてが順風満帆とは言えないですが、このフィールドワークゼミが、企業が、社会が、学生を社会人へと変えてゆく様に、同年代のころの自分を顧みると、私は驚きを隠せません。

来年度からは、更にフィールドワーク先での後輩ゼミ生の指導という新たな役割が彼らに課せられますが、他者を教えることを介して得られる学びが、彼らを更にどのように変えてゆくのか。今から楽しみです。

総合経営学部　公共経営学科
准教授　松永 佳甫

ボランティアガイドを通じた着地型観光の学習（横見ゼミ）

横見ゼミナールでは、「フィールドワークを通じた観光地域づくり」というテーマで、主に「着地型観光」の実践的なノウハウを学習しています。「着地型観光」とは、地域が主体となり、地域ならではの視点やアイデアを盛り込みながら、地域の観光資源を開発・発展させることを意味します。こうした取組みは、地域活性化の動きと歩調を合わせるように、いまや全国的に拡大しています。

具体的な活動内容を紹介すると、21年4月に大阪府の四條畷市と包括連携協定を締結し、なわてロードガイド「ゆずりは」（地域の観光ボランティアガイド）と協働して年に5回程度開催される観光ガイド付きハイキングコースを基本とした観光地域づくりを実施しています。

現在、学生たちは「四條畷の観光コンテンツを制作する」という大きなテーマのもとで基礎から観光コンテンツを作り上げていくプロセスを学習し、22年春のJRハイキングという最大のイベントに向けて準備をしています。夏休みを境に諸活動における学生関与の部分を拡大していった結果、いまではリーダーを長とする的確な役割分担を学生たちで設定し、自ら意見を主張し、時に議論を交わしながら、目的に向かって進んでいます。「創造力」と「協調性」は、とくに今年一年で目を見張る進歩がありました。

22年1月には成果報告会があり、これも学生にとって大きなモチベーションになっています。

自分たちの取組みを精一杯アピールするために一致団結でがんばっています。

総合経営学部　公共経営学科
専任講師　横見 宗樹

現時点までの総括について

事業推進責任者
（総合経営学部　商学科 准教授）　酒井 理

平成20年9月の採択から1年あまりが経過しました。概ね当初の計画どおりに事業は進捗しています。これまで、副学長直轄の教育GP推進プロジェクト委員会を設け、その下に教職員協働の考えのもとで構成される3つのワーキング（作業部会）をつくり各種の作業を進めてきました。すなわち①教育GPの全プログラムに対して外部評価を受けるしくみ、②学生に対する教育効果を測定する手法、③演習での教員の活動を支援するしくみ、を検討する3つのワーキンググループで時間をかけて丁寧に作業を進めているところです。

学生の学びの場となるフィールドワークゼミナールに関しては、平成21年度には5つのゼミが参加しています。学生は言うに及ばず、教員の熱意も高く、ゼミナールでは教員の特徴を活かした取組みが行われています。学生は積極的に現場に出かけ、社会との交流を通して実践的な能力に磨きをかけています。教員、学生双方のフィールドワークゼミナールに対する理解が進んだこともあり大きな広がりをみせました。その結果、来年度からは新たに4ゼミが参加し、合計9ゼミでの取組みとなる予定です。

本取組みで期待している①フィールドにおける学生自身による主体的な学びの実現、②外部評価によって継続的に改善されていく教育プログラム、③能力開発も含めた教職員一丸となった事業推進、の3つについては一定の成果が出ています。本学の教育プログラムの一つとして広く社会に認知され、高く評価されることを目標として、今後とも教職員のチームワーク力を磨き、議論を尽くしつつ本取組みを推進していきます。

平成21年度 大学教育・学生支援推進事業　学生支援推進プログラム（学生支援GP）

大阪商業大学

事業名称：『個別面談体制と社会人力向上策の展開による就職率の維持・向上』

事業の概要

昨今の社会情勢により、本学の求人件数は対前年比約75％まで減少し、本学の高就職率を維持することが困難な状況にあります。今回その対策として、学生の意欲・能力、いわゆる社会人力を向上させ、また学生がより積極的な就職活動をできるようにする支援体制を確立します。

本取組みは、専門要員が個別面談等による相談・アドバイスを行うとともに、社会人力の養成を目的とする少人数制講座を実施します。また、現行の求人情報提供システムを充実することにより、従前と変わらぬ就職率を維持させることを目的とします。

推進体制としては、全学的な就職支援プロジェクトを立ち上げ、プロジェクト推進本部のもと、学内関連部署との連携を図りながら、学生の就職決定までの支援を行います。更に、学外有識者を含めた評価委員会を設置し、定期的に進捗状況をPDCAサイクルのもとで評価・改善の提言を行い、本取組みの適正な展開を図ってまいります。

具体的な事業

①個別面談・キャリアカウンセラー4名を増員配置することにより支援体制の充実を図り、3年生の就職希望者全員（約1,000名）の意欲喚起のための面談を短期間に集中的に実施。

②社会人力養成講座：学生の知識、技能の向上を目的とした基礎学力養成講座を少人数制で開講。講座は2・3年生を対象に開講し20名以下の少人数で実施することにより確実な能力の向上をめざす。

③求人情報提供システム（学生ポータルサイトと連携）を新規導入し、時間・場所に制約されない情報提供体制の確立と検索項目を拡充するなど、学生の利便性の向上を図る。

④職員のカウンセリング能力、就職支援スキル向上のための研修会を実施する。

⑤電話サポート員1名を配置し、就職活動のフォローを常時実施することにより活動上の問題等を即座に解決できる体制を構築する。

事業推進責任者より

キャリアサポート室が学生のキャリア形成、就職指導・支援を主に担ってきました。積極的な支援と六十年に及ぶ教育実績が、高就職率を維持することができた大きな理由です。しかし、今日の経済状況はこれまでになく厳しく、高就職率を維持することが困難な状況にあります。加えて、高卒者の半数以上が大学に進学するという時代を迎え、コミュニケーション能力など社会人として備えておくべき基礎能力・社会参画の意欲に問題を抱える学生が増え、また、学生間の能力格差も懸念されます。

学生の能力・意欲の格差に配慮しながら、就職支援を行うには従来型の平均的対応・施策では十分な効果は期待できません。学生一人ひとりと向き合い、学生が抱えている課題あるいは可能性を探り、具体的で効果的な支援を行うことが求められます。今回、採択された学生支援推進プログラムは新たなキャリアサポート活動を構築する取組みです。

今後、学外者による検証（第三者評価）を受けることで改善工夫を加え、学生支援の組織的取組みとして定着させることをめざします。

副学長　片山　隆男

神戸芸術工科大学

事業名称：『デザイン・アート系大学における就職意識向上プログラムの構築』

目的・到達点

自立志向の高いデザイン・アート系の学生に対し、就職意識の向上を図るため低学年時から学士力、社会人基礎力の確保に努めるとともに、技術職の就職活動時に必要なポートフォリオやプレゼンテーション能力等のスキルアップ講座、専門家による実技指導講座等を少人数制で実施し、デザイン・アート力の向上補完を目指します。また、卒業生と連携し、各分野で活躍する卒業生を講師としたリレー講座を設け、身近な先輩達の携わっている業務の仕組みや苦労話、就職活動時の経験談等を聞くことにより学生時代から取り組むべきことの理解、自己のレベルや社会状況の把握を行います。インターンシップでは、学生の特性を活かせる企業への参加者に対する支援制度を整え、デザイナーを意識した就職活動へと繋げ、希望職種への就職達成を図ることを目的とします。

実際に就職活動を開始する3年生に対しては、『就活ハンドブック』を作成・配付し、就職活動時に役立てます。また、学生を支える保護者に対しても『保護者向けガイドブック』を作成・配付するとともに個別相談の機会を設け、就職活動に対する理解を深めます。

これらのことを実施することにより、就職意識の向上や学士力の確保を達成し、デザイン・アート力を含めた社会への適応力、人間力の一層の向上を図るとともに、就職活動に対する支援体制を整え、希望職種への就職達成を図ることを目的とします。

取組事例

- インターンシップ実施時の宿泊費補助
- 就職活動用ハンドブック、保護者用ガイドブック、インターンシップガイドの作成
- 卒業生を中心としたリレー講座の実施（全11回）
- キャリアガイダンス、キャリアデザイン（授業）の充実
- スキルアップ講座、就職対策講座、資格取得対策講座の実施

今後の予定

- デザイン力をアピールできる模擬面接講座：1月下旬（全3回）
- 基礎学力フォローアップ講座：1月下旬～2月下旬（全14回）
- 筆記試験（SPI・CAB・GAB）対策講座：2月中旬～下旬（全5回）
- 知的財産管理技術検定3級対策講座：2月中旬～3月中旬（全10回）
- CAD利用技術者試験2級対策講座：3月初旬～中旬（全8回）
- その他各種講座

事業推進責任者より

本事業において、自立志向の高いデザイン・アート系大学の学生に対し、低学年時から学士力の確保に努めるとともに、スキルアップ講座を通じて社会人基礎力の確保、実技指導講座を通じてデザイン・アート力向上補完を目指し取り組んでおります。また、インターンシップの参加者に対する支援制度を整えるとともに、ガイダンスの充実、卒業生や企業人と連携した講座・講演等の実施により自己のレベルや社会状況を把握し、デザイナーを意識した就職活動へと繋げ、就職意識の向上、就職率の上昇を図ることができると確信しています。

さらに、実際に就職活動を開始する学生に対しては『就活ハンドブック』を作成・配付するとともに、保護者に対しても『保護者向けガイドブック』等の作成・配付、個別相談の実施により就職活動に対する理解を深めます。それにより、保護者を含めた支援体制が整えられ、精神的な不安の解消を図ることができ、充実した就職活動により満足いく就職が可能になると確信します。

キャリアセンター室
室長　大田 欣久

大商大(仮称)研究棟新築工事について

谷 岡学園では、旧耐震基準(昭和56年以前)により建てられた建物18棟について、平成21年度から5ヵ年計画を立て、耐震補強工事を実施しています。その中で大阪商業大学の研究棟は、昭和13年に竣工し築後72年が経っております。今後、現研究棟の耐震補強工事を行うよりも、工事費や耐用年数を比較すると、建替えにより新研究棟を建設する方が得策であり、教員の安全が確保できると判断しました。

そこで、平成21年3月より、本格的に新研究棟の計画に着手しました。大学側では、教職員によるプロジェクトチームを結成し、法人本部と共に計画を検討の上、平成21年7月に基本設計をまとめました。その後、実施設計、諸官庁への届出や申請を経て、着工にたどり着きました。平成22年1月20日(水)に、学園・大学関係者の出席のもと地鎮祭が執り行われましたので、ここに新研究棟の概要をお知らせいたします。

【新研究棟建築　全体工程表(2010年)】

暦月	工程
1月	準備工事
2月	杭工事
3月	基礎工事
4月	
5月	上部躯体工事
6月	内部仕上げ工事
7月	
8月	外装工事
9月	屋上仕上げ工事
10月	
11月	外構工事
12月	検査

(仮称)新研究棟建築概要

●主要諸室	・研究室92室 ・ミーティングルーム8室 ・講師控室
●建築面積	1,075.72㎡
●延べ面積	5,307.91㎡
●構造	鉄筋コンクリート造
●階数	地上6階
●設計・施工	鹿島建設株式会社
●工期	平成22年1月～平成22年12月(予定)

学園設置3高校・幼稚園でメール配信システムを導入

昨 春、新型インフルエンザが大流行し、5月下旬には関西を中心に幼稚園から大学に至る多くの学校が休校することになりました。特に大阪府下では全ての公立高等学校が、また大阪市内の全ての公立小・中学校が休校となりました。その後も収束することもなく、学級閉鎖となった学校も数多くありました。

先の流行の際には、保護者等への急を要する連絡方法について課題となりました。また、秋から冬にかけても大流行が想定されたため、緊急事案対応策として、3高校及び幼稚園においてメール配信システムの導入を行いました。

同システムは、事前に登録を行ったメールアドレスに対して一斉にメール送信をするもので、登録を済ませた保護者にはメールが届き、学校からの連絡事項が確実に周知できる利点があります。

同システムは9月にシステムの構築を行い、11月下旬より3高校ではすでに運用が開始されています。

現在は、緊急事案対応以外にも情報提供サービスの一環として、学校行事の案内や各種連絡事項の周知にも活用されています。

人事異動について(内示)

平 成22年1月19日、20日付で次のとおり人事異動の内示がありました。

退任・任期満了に伴う役職発令は次のとおりです。

■平成22年4月1日付

〈神戸芸術工科大学　役職発令〉

◎齊木崇人　神戸芸術工科大学　学長(2年一期の二期目)

(大学院芸術工学研究科　研究科長、国際交流室長、企画室長　兼務)

◎戸矢崎満男　大学院芸術工学研究科総合アート専攻　専攻主任(デザイン学部ファッションデザイン学科　学科主任の職を解く)

◎佐野浩二　デザイン学部プロダクトデザイン学科　学科主任

◎野口正孝　デザイン学部ファッションデザイン学科　学科主任

◎赤崎正一　デザイン学部ビジュアルデザイン学科　学科主任

◎橋本英治　先端芸術学部まんが表現学科　学科主任　兼同学部映像表現学科　学科主任

◎笹谷晃生　先端芸術学部クラフト・美術学科　学科主任

◎山﨑　均　デザイン教育研究センター　センター主任

◎赤松武寛　クリエイティブセンター　センター長

◎杉浦康平　アジアンデザイン研究所　所長

(平成22年4月1日　研究所発足予定)

■平成22年4月1日付

〈大阪女子短期大学高等学校〉

◎尼子東吉　大阪女子短期大学高等学校　校長

(任期は平成25年3月31日まで)

〈大阪商業大学高等学校〉

◎大塚信一　大阪商業大学高等学校　校長

◎堀井　純　大阪商業大学高等学校　教頭

(いずれも任期は平成25年3月31日まで)

〈大阪商業大学堺高等学校〉

◎浅田　隆　大阪商業大学堺高等学校　校長

◎好永保宣　大阪商業大学堺高等学校　教頭

◎敷嶋義之　大阪商業大学堺高等学校　教頭補佐

◎平松稔昭　大阪商業大学堺高等学校　教務主任

(いずれも任期は平成25年3月31日まで)

〈大阪商業大学附属幼稚園〉

◎国久美代子　大阪商業大学附属幼稚園　園長

◎白石真智子　大阪商業大学附属幼稚園　教頭

(いずれも任期は平成25年3月31日まで)

健康開発セミナーが行われました

昨 年11月28日(土)、大商大本館6階研修室において健康開発セミナーが開催されました。同セミナーは法人本部人事課が教職員の健康管理の一環として毎年実施しているもので、今回は「メタボリックシンドロームの対策について～知ることが予防の第一歩～」をテーマに、大阪商業大学産業医でおざきクリニック院長の尾﨑貞喜先生が講演されました。

平成20年度より学校保健法施行規則の一部改正に伴い、定期健康診断の検査項目に「腹囲測定」が追加されましたが、今年度の健康診断では所見を有する人が増加するなど、メタボ予備軍と思われる教職員の方々が増加している現状であるとも言えます。

このような状況から、今回のセミナーでは内科が専門の尾﨑先生にメタボリックシンドロームについて、その定義、診断基準及び危険性等の解説及び、既にメタボと思われる方には食生活等における改善策を、またメタボにならないための予防策等について分かりやすく解説していただきました。

色々な場面でメタボリックシンドロームについては耳にしますが、普段、そこまで意識することがないため、今回のセミナーでは改めてその危険性を認識するとともに、早期に予防することの大切さに気付かされました。

セミナーで話す尾﨑先生

神戸市新設の「統括監」へ齊木崇人神戸芸工大学長を登用

神戸市は、平成21年12月24日(木)にデザイン都市を推進する特別職として「統括監」を新設し、その職に神戸芸術工科大学齊木崇人学長を登用することを発表しました。

神戸市は、外郭団体では民間人の幹部登用を行っていましたが、市役所本庁内で登用するのは初めて。齊木学長の登用により、神戸市が取り組んでいる重要政策「デザイン都市・神戸」のさらなる推進が期待されます。

齊木学長は次のように述べられました。

「神戸がいつまでも活力ある都市であり続けるために重要な都市戦略を司る仕事に貢献できることを、大変光栄に思います。教育・研究機関を通じて得た人材育成の経験や専門知識を生かし、神戸の魅力と潜在力を再発見し、新しい活力を生み出せるように努力していきたいと思います。」

全国高等学校第8回ビジネスアイディア甲子園2009

昨年12月12日(土)、大阪商業大学ユニバーシティホール蒼天において全国高等学校第8回ビジネスアイディア甲子園2009の表彰式が行われました。表彰式では全国の高校生から届けられた5,832件もの応募の中から、厳正な審査を経て決定したグランプリ、準グランプリ各1名、審査員特別賞5名、学校賞25校が発表されました。

そして、各賞の発表後、グランプリ受賞者（清真学園高等学校・中学校1年 湯澤薫さん）と準グランプリ受賞者（奈良県立五條高等学校3年 中有香さん）によるプレゼンテーションが行われ、いずれも高校生らしくユニークなアイディアが会場の出席者に披露されました。

そして、プレゼンテーション後、NPO法人KOMPOSITION代表理事寺井元一氏による「自然体で起業する―ライフスタイルとしての起業・企業・NPOについて―」をテーマに記念講演が行われ表彰式は終了しました。

なお、大阪女子短大高校2年生全員が、夏休みの宿題として取り組んだ作品を今年度初めて応募し、みごと学校賞を受賞しました。

各賞の入賞者は次のとおり。

入賞者との記念撮影

受賞	学校名 学年	氏名
●グランプリ（1件）「音楽療法配信サービス」	茨城県清真学園高等学校・中学校1年	湯澤 薫
●準グランプリ（1件）「起きたの知らせます。」	奈良県立五條高等学校3年	中 有香
●審査員特別賞（5件）「壁紙プロパガンダ」	東京都市大学付属中学校・高等学校1年	横川 翔
「個人情報守るオカン(ヒロミ)」	広島県立呉宮原高等学校1年	三上 光 深川 瞳 藤尾 朱里 永井 美邑
グループ名 かあちゃんにとってはね、子供はみんなかあちゃんの子供!!		
「色分け de 分別★!」	和歌山県立和歌山商業高等学校1年	御前 春花
「センサー付障害者専用駐車スペース」	静岡県立浜松大平台高等学校3年	桑澤 柚香
「警報機付きベランダ手すり」	和歌山県立和歌山商業高等学校1年	阪本 綾美

河内の郷土文化サークルセンター創立25周年記念事業が行われました

河内の郷土文化サークルセンター創立25周年を記念して、去る11月28日(土)・29日(日)の両日、記念事業が開催されました。同センターは郷土河内の歴史や文化について調査・研究をしている市民サークルの連合体で、昭和59年11月に設立されました。事務局は大阪商業大学谷岡記念館内に置かれ、現在25団体約1,000名もの会員が各サークルで活動しています。

この度の記念事業では4半世紀にわたる同センターの活動のひとつのまとめとして「河内文化のおもちゃ箱」を刊行するとともに、2日間にわたり多彩なイベントが開催されました。初日の28日には記念式典が大商大ユニバーシティホール蒼天にて執り行われました。多くの会員の方々が会場を埋める中、谷岡一郎大商大学長をはじめ、地元自治体を代表して野田義和東大阪市市長、原正憲八尾市副市長、山田昇大阪市生野区区長がそれぞれ祝辞を述べられました。

2日間にわたり行われた各イベントは次のとおりですが、いずれのイベントとも多く参加者を集め、大盛会のうちに終了しました。

■11月28日（土）
・記念式典
・祝い舞　山村若佐紀氏
・出版記念フォーラム「河内文化のおもちゃ箱」

■11月29日（日）
・記念講演会「考古学から見た河内」
　奈良大学 元学長 水野正好氏
・民謡コンサート「河内木綿織り屋節」他
　井上整憧氏と井上邦楽会

■11月28日-29日
・記念展示「河内人の物語」-河内を愛し歴史を駆け抜けた人々の物語-

記念式典

民謡コンサート「河内木綿織り屋節他（井上整憧氏と井上邦楽会）」

News File

WAT神戸2009開催される

昨年11月9日(月)から2週間にわたり、神戸市は、同じくユネスコ(国際連合教育科学文化機関)・創造都市ネットワーク「デザイン都市」であるモントリオール市との交流事業として、モントリオール大学ユネスコ講座「神戸の「景観と環境デザイン」を考える国際ワークショップ「WAT-Kobe Japan 2009」」を開催しました。

その中で、神戸芸術工科大学は神戸大と共にホスト都市の大学として、ワークショップに参加しました。神戸芸工大からは大学院生6名と教員1名が世界8カ国50名を超える大学院生、教員らと共に参加し、他の参加者と共同で神戸市内の6つのプロジェクト対象地域に関するデザイン提案を行いました。参加者らは対象エリアの視察の後、12のグループに分かれ、各対象地域の課題と可能性を議論し、都市改善のための具体的なデザインの提案をまとめました。最終日には、神戸芸工大吉武記念ホールにて各グループによるプレゼンテーションが行われ、合わせて優秀グループの表彰と閉会式が行われました。

神戸市では、今回の提案を市の景観行政を推進していくうえで、参考にしていくとのことです。

ワークショップでのプレゼンテーションの様子

第3回スイーツコンテスト優秀作品が商品化されました

昨年9月に開催された大阪女子短期大学第3回スイーツコンテストにおいてみごと優秀賞を受賞し、11月の学長賞も受賞した2作品が商品化されました。(学長賞受賞については、前号の楽人38号「ニュースファイル」で紹介しました。)

洋菓子部門で優秀賞を受賞した同短大食物栄養専攻製菓コース2年生藤野由真さんの「オータムクラウン」は、秋の食材「かぼちゃ」を使ったケーキで、「クラウン(王冠)」をイメージした形に仕上げました。

また、製パン部門で優秀賞を受賞した同コース2年生西尾朱生さんの「Pretty米」は、米粉の触感と甘みを生かし、3種類の味のパンを作りました。

11月30日(月)に放送されたJ:COM東大阪(ケーブルテレビ)の「日刊かわちHOT情報」のコーナーに藤野さんと西尾さんが出演し、制作コンセプトやネーミングの由来などをPRしました。

なお、「オータムクラウン」はシュクレ本店、「Pretty米」は金太郎パン、また、両方の商品がU・コミュニティカフェテリアで11月16日(月)から12月末日までの期間限定で販売されました。

※現在は受注販売のみ受付ております。(ただし注文数によります)詳しくは、U・コミュニティホテルまでお問い合わせください。(06-6784-3000)

製パン部門の西尾さん

洋菓子部門の藤野さん

フジイデラックス09に参加しました！

昨年11月中旬から約1ヶ月の間、大阪女子短期大学を含む藤井寺市周辺の4大学（四天王寺大学・大阪府立大学・大阪芸術大学）の学生による合同学園祭「フジイデラックス09」が開催され、同短大からボランティア部を中心とした学生が参加しました。

「フジイデラックス」は、平成20年8月、地域を活性化したいと考える学生のアイディアで初めて開催され、2回目となる今年は、創設30周年を迎えた藤井寺市商店連合会との連携を図ることとなりました。

まず、第1ステージ（プレステージ）として、11月13日（金）～12月10日（木）、藤井寺市内の6商店街にわかれて、藤井寺市の「今」と「昔」の写真展示、ファッションショー、食育講座などのイベントが行われました。

次に、12月12日（土）・13日（日）には、フィナーレを飾る第二ステージとして、藤井寺市役所前の広場において、同短大の学生が中心的に参加した、ワクワクドキドキキッズパーク、藤井寺生まれのニューヒーロー「デライダー」ショーなど、盛りだくさんのプログラムが行われ、多くの市民の皆さんが参加してくれました。

フジイデラックスの様子

エコアートフェスタごみアート甲子園でグランプリ受賞

大阪商業大学高等学校デザイン美術コースでは、今年度も、全国の様々なコンクールや作品コンペに応募し、全学年を通して多くの受賞・入選を果たしています。

その中でも、11月に大阪港海遊館前で行われた「エコアートフェスタごみアート甲子園」では、2年連続のグランプリを受賞しました。エコアートフェスタは、アートの分野から環境問題を考えるきっかけとして、大阪市の港湾局が主催している催しで、今年で5年目になるコンクールです。神戸芸工大をはじめ、関西の大学、高等学校、専門学校から多くの作品が海遊館前に展示され、年々盛り上がりを見せています。

ペットボトル部門でグランプリに輝いた作品

同校では、2年生の授業の一環として、1学期よりペットボトルの収集をはじめ、約2ヶ月かけて作品を制作しました。今回の作品のテーマは「長老と僕の思いで」というタイトルで、大きなタコの長老から世界中の海の中を案内してもらうというストーリーをつくり、それをもとにクラス全員で取組みました。昨年度もグランプリを受賞しているということもあり、プレッシャーを感じたようですが、「今回もグランプリをとるぞ!」という意気込みの中、全員が協力して1つの作品を作り上げました。そして、見事グランプリに輝いたことでクラスの一体感も増したようです。

大商大堺高校収穫感謝祭

少しずつ寒くなり始めた昨年の11月21日(土)に、大阪商業大学堺高等学校において毎年恒例の収穫感謝祭と保護者会バザーが行われました。

収穫感謝祭とは、同校の2年生が建学の理念の具現化と、総合的な学習の一環として実施している勤労教育の成果を発表する行事です。地域に学校を開放し、農園実習において収穫した農作物を、近隣の方々に安価で提供するイベントです。当日は、折からの寒さも手伝って、鍋用の具材である白菜、大根を中心に多くの人が買い求めていました。持ちきれない野菜等は、野球部等のクラブ生が積極的に校門や駐車場まで運んでおり、気持ちの良い光景も見かけられました。

大盛況の野菜即売会

また、この勤労教育を通じて得られた知識をまとめて発表したり、収穫までの過程で得た感想を書道で表現したり、華やかな収穫感謝祭案内ポスターを作成したりと、演習農園以外での活動報告についても行われていました。

同時に行われた保護者会主催のバザーも大盛況のうちに終わり、一味違った地元地域との交流活動の日となりました。

大商大堺高校卒業生がプロ野球選手に

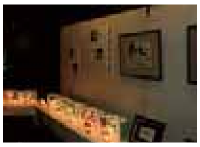
昨年10月29日(木)に行われたプロ野球ドラフト会議(新人選手選択会議)で大阪商業大学堺高等学校を平成17年度に卒業した松井祐介さん(22)が中日ドラゴンズから4位指名されました。

松井さんは1年秋からレギュラーとして活躍、3年の夏の全国高等学校野球選手権大会大阪府予選ではあと一歩のところで甲子園の土は踏めなかったものの、同校の準優勝に大きく貢献されました。同校卒業後は東京農業大学に進学、同大学が所属する東都大学野球リーグでの活躍が認められ、この度の指名となりました。攻守走3拍子そろった大型外野手として今後の活躍に注目です。

入団祝賀会であいさつする松井さん

「書の世界とガラス&アート制作展」を開催しました

昨年12月17日(木)～23日(水)、大阪女子短大高等学校芸術科主催による「書の世界とガラス&アート制作展～〝はんなり〝とした書の世界とキラリと光る〝カラフル〝な世界～」が、藤井寺市立生涯センターアイセルシュラホールで開催されました。


アイセルシュラホールでの展示

同校では、人が人間らしく生きるために大切であると思われる、「美しさに感動する感性を陶冶すること」、「先人が築いてきた伝統を継承すること」、「自己を表現し新しいものを創造すること」を実践することで、自分自身を輝かせる力が身につくことに繋がると考えており、生徒たちは作品制作を通して、さまざまなことを感じ取り、多くの力を得ています。

今回の作品展では、書道部門においては、額・掛軸の大作、石ころ古代文字作品、カレンダー作品、照明スタンド、折色紙作品、木簡作品、年賀状作品など、授業で取り組んだ作品を展示。美術部門においては、ガラスアートを中心に、クリスマスをテーマにしたランプシェード作品、花柄のガラス皿、オリジナルガラス作品など、約百点の作品が展示されました。

北本教諭は、「これまでの展覧会は、三年生の生徒作品を中心とした「卒業制作展」を行ってきましたが、今年度は、全学年の書道、美術の選択者の作品を選抜して展示し、一般の方々に鑑賞していただきました。生徒達は、自分の作品を一般の方に鑑賞していただき、講評をいただくことにより、さらに意欲的な気持ちを表していました。また、藤井寺市長をはじめ近郊の学校の先生方にも鑑賞していただくことができ、生徒達もとても励みになったと思います。」と話してくださいました。

力強い書道作品

News File

大商大堺高校・大阪女子短大高校の生徒が「第18回国際高校生選抜書展」で入賞しました

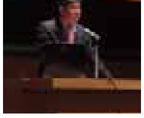
「書の甲子園」の愛称で知られる「第18回国際高校生選抜書展」が開催され、大阪商業大学堺高等学校磯貝卓さん(3年生)と大阪女子短期大学高等学校柿本世奈さん、山田真希さん、堀切美甫さん、露野美樹さん(以上3年生)、高橋彩花さん(1年生)がみごと入選を果たしました。

同大会は毎日新聞社が主催し、世界各国の高校生が日本の伝統文化「書道」の腕と感性を競う大会で、今大会では国内を中心に24の国・地域から約1万5千点の応募があり、文部科学大臣賞などの各賞に2,157点が入賞しました。

なお、入賞・入選作品は、2月2日(火)～7日(日)まで大阪市立美術館で展示されますので、ぜひ会場に足を運んでいただき、生徒の作品をご覧ください。

保護者対象講演会を開催しました

平成22年1月18日(月)、大阪商業大学ユニバーシティホール蒼天にて、大阪商業大学附属幼稚園の保護者を対象とした谷岡学園評議員谷岡辰郎氏による講演会が開催されました。


保護者を前に講演する谷岡氏

谷岡氏は約80名の保護者の方々を前に、最初にご自身の経歴と現在学んでいるアメリカの大学院での研究内容などを説明の後、本日のテーマ「子育てと教育～子供からの観点」について講演されました。

まず、「幼児教育で大切なこと」と「日常生活で大切なこと」について、自らの経験をもとに話をされました。「幼児教育で大切なこと」として、「楽しみながら覚える・そして身につける」、「勉強を好きになる」、「好奇心を持つ」の3点が重要であると話されました。人間は試行錯誤や挑戦をしたり工夫をしたりすることにより、物事がわかった時の喜びや感動を味わい、我慢強くなる。このような経験が、子供の成長につながると述べられました。また、日常生活がきちんとできるためには、親のしつけ方も重要であると話されました。

また、知識の吸収という点にも言及されました。本や絵本を読むことや積み木などで遊ぶこと、また、動物園や水族館、スポーツ観戦などの外での遊びや経験を通じて、子供は好奇心を刺激され、知識をどんどん吸収していくと話されました。

最後に同園の教育方針「伸びる子を育てる」という姿勢が、子供の成長に最も必要な要素であると話されました。

各校クラブ活動等の活躍について

●大商大

●空手道部
第53回全日本大学空手道選手権大会　3位
優秀選手賞　西内　真由(経済学科4年)

●ウエイトリフティング部
第57回関西学生ウエイトリフティング選手権大会　優勝
56kg級準優勝　江本慶伸(商学科4年)
62kg級準優勝　山本健晴(経済学科3年)
69kg級準優勝　下原玄大(公共経営学科2年)
94kg級準優勝　松原寛佳(経営学科3年)
全日本大学対抗選手権大会
62kg級　3位　山本健晴(経済学科3年)

●卓球部
第43回会長杯争奪卓球大会　男子ダブルス優勝
福岡弘人(経営学科2年)・藤原智史(公共経営学科1年)

●神戸芸工大

●工芸都市高岡クラフトコンペ
【入選】西川圭佑(造形表現学科現代クラフト専攻3年)

●「KODDCO 2009」(韓国デジタルデザイン国際公募展)
【入選】金健熙(プロダクトデザイン学科3年)

●「OPUS DESIGN AWARD 2009」
【入選】川嶋崇史(大学院芸術工学研究科1年)

●大阪女子短大

●「福祉機器学生アイデアコンテスト2009」日常生活支援部門
【アイデア賞】久保田沙紀他7名(生活科学科ライフプロデュース専攻2年)

●大商大高校

●ボクシング部
第17回近畿高等学校ボクシング新人大会
フライ級　優勝　平尾圭多(2年)(全国選抜大会出場)

●ゴルフ部
関西高等学校・中学校選手権大会大阪府予選
優勝　前川竜璽(2年)／3位　宮内正人(1年)

●「東大阪税務『税に関する高校生の作文』」
【優秀賞】奥嶋真紀(1年)

●「デジタルアートグランプリ2009」静止画部門
【優秀賞】木村喜久美(3年)

●第21回全日本高校デザイン・イラスト展
【努力賞】伊藤椋(2年)
近畿・中部地区【敢闘賞】木村喜久美(3年)

●大商大堺高校

●柔道部
第51回近畿高等学校柔道新人大会大阪府予選会
男子団体戦ベスト9
女子団体戦ベスト8
男子91kg級　3位　明松豊(2年)
女子+78kg級　入倉愛香・土井絵里可(1年)
(いずれも近畿大会出場)

●空手道部
第33回大阪府高等学校空手道新人大会
男子団体組手　3位
女子団体組手　5位
女子団体形　5位
女子個人形　5位　由木莉加(2年)(いずれも近畿大会出場)

●日本拳法部
第15回大阪秋季高校新人大会
兼第14回全国高等学校日本拳法選抜大会大阪予選会
男子団体の部　3位(全国大会出場)
女子団体の部　準優勝(全国大会出場)

●競技スキー部
第60回大阪高等学校スキー選手権大会
兼第59回全国高等学校スキー選手権大会大阪府予選会
男子スラローム競技　2位　坂上弘樹(2年)
3位　中野龍仁(2年)
5位　金針将太(1年)
女子スラローム競技　2位　佐々木ひかり(1年)
男子ジャイアントスラローム競技　4位　中野龍仁(2年)
女子ジャイアントスラローム競技　3位　佐々木ひかり(1年)
(いずれも全国大会出場)
平成21年度大阪府民体育大会スキー競技会
兼第62回国民体育大会スキー競技会大阪府予選会
少年男子ジャイアントスラローム競技　2位　坂上弘樹(2年)
少年女子ジャイアントスラローム競技　1位　佐々木ひかり(1年)
(いずれも国民体育大会出場)

●郷土研究部
第53回全国学芸科学コンクール人文社会科学研究部門
旺文社赤尾好夫記念賞　受賞
香川文菜・菅原望・樋口佳奈(2年)

●大阪女子短大高校

●バレーボール部
第14回全国私立高等学校男女バレーボール選手権大会
近畿ブロック予選　ブロック1位(全国私学大会出場)

各設置校の主な予定

1/12(火)~2/14(日)	世界のチェス・将棋展Ⅱ [大商大 学術センター U-BOX]
2/ 2(火)~2/4(木)	劇の会 [中女大附属幼稚園]
2/ 6 (土)	大商大アミューズメント産業研究所シンポジウム「頭脳スポーツと教育」
2/10 (水)	園長と考える子育てサロン [大商大附属幼稚園]
2/12(金)~2/14(日)	芸工大卒展カオス [於:兵庫県立美術館(芸術の館・原田の森ギャラリー)、神戸芸術センター、※神戸ファッション美術館(オルビスホール)] ※2/12のみ
2/14 (日)	第7回大阪商業大学 春のママさんバレーボール大会
2/15 (月)	学園創立記念日
2/19 (金)	卒業式 [大商大堺高]
2/20 (土)	卒業式 [大商大高・大阪女子短大高]
2/27 (土)	第29回郷土文化講演会「文化講演と講談のつどい」[大商大]
	卒業式 [至学館高]
3/ 6 (土)	公開講座 [大阪女子短大]
3/13 (土)	卒園式 [大商大附属幼稚園/中女大附属幼稚園]
3/19 (金)	学位記授与式 [大阪女子短大]
3/20(土)~3/21(日)	全国高等学校囲碁選抜大会「大商大後援」
3/20 (土)	学位記授与式 [中女大/中女大短大部]
3/21 (日)	学位記授与式 [芸工大]
3/25 (木)	学位記授与式 [大商大]
3/30(火)~31(水)	大商大バレーボールフェスティバル 谷岡杯

●各校の入試日程

大商大	2/20(土)	大学院入試 (春期)
	2/21(日)	前期一般入試B日程、後期スポーツ推薦入試、編入、転入学試験、専攻科入試 (2次)
	3/ 9 (火)	後期一般入試
神戸芸工大	2/19(金)~20(土)	大学院入試 (B日程)
	3/ 6 (土)	一般入試 (後期)
大阪女子短大	3/ 1 (月)	試験選考B日程
中女大	1/31(日)	一般入試 (Ⅰ期)、社会人入試 (Ⅱ期)、外国人留学生入試
	2/ 6 (土)	大学入試センター試験プラス入試
	2/13(土)	大学院入試 (Ⅱ期)
	2/27(土)	一般入試 (Ⅱ期)
中女大短大部	1/30(土)	一般入試(Ⅰ期)、社会人入試(Ⅱ期)外国人留学生入試
	2/6 (土)	大学入試センター試験プラス入試
	2/27(土)	一般入試 (Ⅱ期)

●高校入試

2/10(水)	大商大高・大阪女子短大高 筆記試験/面接試験(専願のみ)
	大商大堺高 筆記試験
	至学館高
2/11(木)	大商大高 実技 (デザイン美術コースのみ)
	大商大堺高 面接試験 (専願のみ)

※1.5次入試

2/16(火)	大商大堺高
2/17(水)	大商大高・大阪女子短大高

(各行事の詳細については各校のHPにてご確認ください)

本学園における個人情報の取扱いについて

学校法人谷岡学園(以下「本学園」という。)では、個人情報の重要性を認識し、これを保護するとともに、「個人情報の保護に関する法律」に沿って、適切に管理し、利用します。

また、本学園は、保有する個人情報に対して、必要かつ適切な安全管理措置を講じ、個人情報の漏洩、滅失、毀損等を防ぐよう努めます。

個人情報取扱業者の名称及び氏名:

学校法人谷岡学園　理事長　谷岡一郎

個人情報の取扱いについての問合せ窓口
学校法人谷岡学園　法人本部　総務課　個人情報取扱係
電話:06-6781-0384

Quality of Life クオリティ・オブ・ライフ

最新歯科医療の現場から Vol.3

大阪商業大学附属幼稚園 園医
歯科医 医学博士 金子 敦美

口腔内は、大きく歯と歯周組織の2つに分けられます。今回は歯について述べます。私たち人間は、成人で上下顎あわせて28本の永久歯を持ちます。(親知らずを含めると32本になる)。そして色々な原因により歯を失います。虫歯がひどくなり抜歯したり、歯周病で抜歯したり、もしくは、自然脱落したり、事故等により欠損となります。私たち歯科医はその欠損となった所に色々な方法で歯を作って入れていきます。その方法の一つとしてインプラントがあります。

インプラントとは、英語で「implant = しっかり差し込む」という意味です。歯が欠損した部分の歯槽骨に人工の歯根を植えて、その歯根の上に人工の歯冠を製作して、噛み合わせを回復させる方法です。現在では、世界中の様々な研究結果からチタン金属が最もインプラント治療に適しているとされています。この金属は、外科等の医療現場で骨折の固定ボルト等にごく当たり前に使われている体に安全で最も金属アレルギーの少ない金属です。

インプラントの歴史をたどると、メソポタミア文明やインカの遺跡からインプラントの痕跡が発見されているそうです。紀元前3,500年頃に生まれた人類最古の遺跡から人骨の顎の部分に、黒耀石(こくようせき)やヒスイが埋め込まれていたものが発見されています。これが本当に歯の代わりとして埋め込まれていたのか、それとも何らかの儀式として使われていたのか、その辺りは定かではありませんが、インプラントと考えても不自然ではない歯の加工が行われていたと見られています。また、紀元前600年頃のマヤ文明の時代に、貝殻が歯の代わりとして埋め込まれていたのが見つかっています。このあたりになると、インプラントが治療として行われていたことがはっきりとしてきます。インプラントの歴史は意外と古いものです。

現在の日本のインプラント技術の水準は高く、多くの人々に貢献しています。ただ、インプラントを行う前には、十分な検査が必要となってきます。インプラントは、言わば、骨に穴をあけて人工物(チタン金属)を埋め込むので、手術となり、主治医との十分なinformed consent(インフォームドコンセント)が必要となります。インプラント治療を受ける前に、その方法、危険性(たとえば、全身疾患があるかどうか?骨粗鬆症の薬を飲んでいるかどうか? など)、そして費用などについて十分な情報を得た上で、その治療に同意されているかどうかということです。またインプラント治療後にはアフターケアが必要となります。これはインプラントの敵であるバイオフィルム(歯垢のかたまり)の除去です。十分に納得された上で、治療を受けられることを望みます。

編集後記

去年の12月初旬、本町に所用で出かけました。その帰り、御堂筋のイチョウがまっ黄色に紅葉しあまりにも美しかったので、難波まで歩きました。御堂筋を歩くのは実に15年ぶりで、街の様子がかなり変わっていました。

本町あたりは、昔は同じ高さのビルが肩を並べ整然としていましたが、今は背の高いビルがあちこちに建ち、街並みががらりと変わっていました。

心斎橋あたりは、ルイヴィトン・シャネル・エルメスを始め世界のスーパーブランドが集結し、ブティック街に変貌していました。昔は、銀行や証券会社の窓口がひしめき合っていました。

難波は通勤経路で毎日通っているので、街の変化にあまり気付きませんでした。ところが、歌舞伎座が工事用の仮囲いで囲われ、数年先にはここもがらりと変わるだろうと思うと非常にさみしく感じました。

本町から難波まで歩いてみて、イチョウだけは昔のままの姿だったので何かほっとしました。人類の発展には都市の変革も必要なのでしょうが、それ以上に自然との共生が大事だなと実感させられました。(は)

■楽人Vol.39
発行日　2010年1月30日
編集/発行　谷岡学園　法人本部　総務課
編集長　谷岡一郎
TEL:06-6781-0384
FAX:06-6787-3002
http://www.tanigaku.ac.jp/

学校法人 谷岡学園　TEL:06-6781-0385

大阪商業大学	http://ouc.daishodai.ac.jp/
神戸芸術工科大学	http://www.kobe-du.ac.jp/
大阪女子短期大学	http://www.owjc.jp/
大阪商業大学高等学校	http://www.daishodai-h.ed.jp/
大阪商業大学堺高等学校	http://www.shodaisakai.ac.jp/
大阪女子短期大学高等学校	http://www.osakajyosi-h.ed.jp/
大阪商業大学附属幼稚園	http://www.shodai-kids.ed.jp/

学校法人 中京女子大学　TEL:0562-46-1291

中京女子大学	http://www.chujo-u.ac.jp/
中京女子大学短期大学部	http://www.chujo-u.ac.jp/
至学館高等学校	http://www.shigakukan-h.ed.jp/
中京女子大学附属幼稚園	TEL:0562-46-1294

Gakujin